

《担当者名》笠師 久美子 kasashik@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

薬理学は薬物と生体の相互作用を理解する学問である。本講義では、医薬品がどのようなしくみで生体に作用するかについての基本知識を習得する。さらに薬物の体内動態などの薬物に影響を及ぼす要因や、薬物の副作用についての知識を習得する。これらの授業内容を通じて医薬品と生体の相互作用に関する理解を深め、リハビリテーション医療に生かせる薬物の基本的な知識を身につける。

【学修目標】

チーム医療の一員として、リハビリテーション医療を行う上で、必要とされる治療薬やリスク管理に関する知識を習得する。

【一般目標】

リハビリテーション医療を考慮した薬物治療の知識を習得する。

リハビリテーション医療を継続できるよう、医薬品の副作用や有害事象に関する知識や情報を習得する。

【行動目標】

1. 薬物の作用様式と作用機序を説明する。
2. 薬物の吸収、分布、代謝、排泄を説明する。
3. リハビリテーション医療と関連する主な薬物の薬理作用を説明する。
4. 薬物の副作用、有害作用の基本的事項を説明する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	医薬品の基礎知識	医薬品とは何かを説明できる。 薬物の体内動態を概説できる。 薬物の動態学的相互作用を概説できる。	笠師 久美子
2	治療薬各論1：精神・神経疾患と薬物治療	精神・神経疾患の主な治療薬の作用機序を説明できる。 精神・神経疾患治療薬を選択する時の注意点を説明できる。 治療薬使用時の副作用とその対処方法を説明できる。	笠師 久美子
3	治療薬各論2：循環器疾患と薬物治療	循環器疾患の主な治療薬の作用機序を説明できる。 循環器疾患治療薬を選択する時の注意点を説明できる。 治療薬使用時の副作用とその対処方法を説明できる。	笠師 久美子
4	治療薬各論3：呼吸器疾患と薬物治療	呼吸器疾患の主な治療薬の作用機序を説明できる。 呼吸器疾患治療薬を選択する時の注意点を説明できる。 治療薬使用時の副作用とその対処方法を説明できる。	笠師 久美子
5	治療薬各論4：感染症と薬物治療	感染症の主な治療薬の作用機序を説明できる。 感染症治療薬を選択するときの注意点を説明できる。 治療薬使用時の副作用とその対処方法を説明できる。 感染対策について説明できる。	笠師 久美子
6	治療薬各論5：疼痛・炎症と薬物治療	主な鎮痛薬・抗炎症薬・抗アレルギー薬の作用機序を説明できる。 鎮痛薬・抗炎症薬・抗アレルギー薬を使用する時の注意点を説明できる。 治療薬使用時の副作用とその対処方法を説明できる。	笠師 久美子
7	治療薬各論6：抗腫瘍治療薬	抗悪性腫瘍薬適用の基本方針を説明できる。 治療薬使用時の副作用とその対処方法を説明できる。	笠師 久美子

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		がん治療における疼痛管理についてその概略を説明できる。	
8	リハビリテーションと薬に関する周辺情報	フレイルの原因とポリファーマシーとの関連性を説明できる。 医原性サルコペニアと関連薬剤について理解できる。 スポーツ領域における医療について理解できる。	笠師 久美子

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

試験100%、100点満点で60点以上を合格とする。

【教科書】

指定しない。

【参考書】

宮越浩一 編 「リハに役立つ治療薬の知識とリスク管理」 羊土社 2019年

若林秀隆 代表編集 「機能・活動・参加とQOLを高める リハビリテーション薬剤」 じほう 2019年

野村隆英・石川直久・梅村和夫 編 「シンプル薬理学（改訂第6版）」 南江堂 2020年

内山靖・藤井浩美・立石雅子 編集 「リハベーシック 薬理学・臨床薬理学」 医歯薬出版 2020年

【学修の準備】

配布した資料に目を通し、生理学や生化学の用語を事前に調べておくこと。（80分）

前回の授業内容を復習しておくこと。（80分）

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

（DP3）理学療法士として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、地域包括ケアの視点から適切に対処できる実践的能力を身につけている。

【実務経験】

薬剤師

【実務経験を活かした教育内容】

長期実務経験を基に、チーム医療においてリハビリテーション専門職が備えておくべき医薬品に関する基本的事項を講述し、多種多様な医薬品の特性に関する理解を深めるための講義を行う。